

行動することで広がる世界、輝く笑顔



みの〜れ芸術展実行委員
さくらフェスみの〜れ実行委員
島田奈保子さん

「親子で参加したさくらフェスティバルはいい思い出です。」と笑顔で話す島田さん。

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ No.72

今年が雨が少ないせいとか、バラの花が見事に咲いています。春とは違った色の花が咲きだして、私たちの目を楽しませてくれます。池花池の水面をコロンとした真っ白なヒツジグサが咲いていてとてもきれいです。足を運んでみてはいかがですか？今回はみの〜れ芸術展実行委員をされ、今年の春には娘さんと一緒にさくらフェスみの〜れ実行委員として活躍された、希望ヶ丘地区のお住いの島田奈保子さん取材します。

みの〜れで広がる 人とのつながり。

広島県出身で、結婚してからは転勤族だったという島田さん。海外で暮らした経験や、2年ごとに引越越しをしていた島田さんは「たくさんの別れもあったけれど、その分たくさんの友達もできました」と話してくれた。

そして現在、希望ヶ丘地区に引越してきて10年。みの〜れ芸術展の実行委員になり、みの〜れに関わるようになって2年になる。「新しく実行委員になった人と、前からいる人たちと、お互いの視点を生かして、新しい形を探しつつやっていけたらいいな」と8月の芸術展開催に向けて、意欲を語ってくれた。

それ以前にも紛争、災害、貧困の子どもたちに音楽と映像で近づこうというコンサート「地球のステージ」が好きで、よくみの〜れ

に観に来ていたと話す島田さんは、「娘の通う高校でも地球のステージを公演し、高校生たちにもぜひ観てもらいたい」と考え、PTAの研修委員に自ら立候補し、見事に地球のステージの公演を実現させたそう。

「震災があり、本当に地球のステージが出来るのかという不安もありました。でも、こんな時だからこそ・・・と出演者である桑山先生は快く引き受けて下さり実現することが出来ました。地球のステージを観た高校生は感動して涙を流していました。本当にやってよかった」と、当時を振り返った。みの〜れの職員さんからの誘いで、さくらフェスティバルの実行委員になった島田さんは、親子でこういうイベントに参加する機会はないかなと思う、参加を決意したと話す。「私は以前から地元のものにほしきと思っていて、みの〜れに来るようになって知り合いができてよかったです。親子で一つのイベントを作り上げることに喜びを感じました。

娘とは別の場所を担当をしていたので、お互いの担当場所の進み具合を家で確認しあうことも楽しかったです」と島田さん。

島田さんの趣味はマラソンと登山。「趣味と言いつのは笑っちゃうくらいのものなんですけど、毎年マラソンに出たり、富士山に登ったりするんです。東京マラソンにも出たことがあるんですよ。今年の夏も富士山に登ると思います。夫婦で、毎年恒例なんです」と楽しそうに話してくれた。

「みの〜れに初めて来たとき、芸術文化のにおりが高いところだと感じ、自分も関わることが出来たらいいなと思っていました。その想いがいつのまにか実って、今こうしてみの〜れに関わっています」と話す島田さんの元気な笑顔は輝いていた。

(藤田佐知子)